

クオンティフェロンTB-2G(QFT)検査依頼書

依頼日：	年	月	日	患者番号：	
施設名：		殿		施設コード：	
氏名：		殿		性別：男・女	年齢：歳
採血日：	年	月	日	採血時間：	時 分（必ず記入）
提出医：		先生			

* ヘパリン以外の抗凝固剤を使用した場合、血液検体の搬送・保管に問題があった場合、及び採血後6時間以内に培養の開始が出来なかった場合は、正しい結果が得られませんのでご注意ください。

◎結果判定の留意事項（メーカー文献より）

1. 本検査結果が陽性となった場合であっても、被験者の病歴やその他情報に基づいて医師による総合的な判断を行うこと。
非結核性抗酸菌の *M.Kansasii*、*M.marinum*、*M.szulgai* 等にも ESAT-6 および CFP-10 は存在し、らい菌 *M.leprae* にも ESAT-6 および CFP-10 の類似抗原が存在するため、結核菌以外の感染である場合がある。
注) 結核と非結核性抗酸菌との鑑別をするには、分離培養法、PCR 法等により、菌の同定を行うこと。
2. 測定された IFN- γ 値は、感染の程度、免疫応答レベル、活動性の指標を示唆するものではない。
3. 以下に示すような疾患、治療を受けている患者、及び特殊な被験者については注意すること。
 - 1) 免疫抑制状態にあることが予想される患者
 - ① HIV 感染、AIDS、臓器移植等により免疫抑制されている者
 - ② 糖尿病、ケイ肺症、慢性腎不全、血液病(白血病、悪性リンパ腫等)、その他特定の悪性腫瘍（頭部癌、頸部癌、肺癌等）により免疫系低下の可能性のある症例
 - ③ 免疫抑制剤(コルチコステロイド、メトトレキサート、アザチオプリン、化学療法等)により免疫抑制されている者
免疫抑制状態により本検査結果が偽陰性を示す可能性がある。
 - 2) 特殊な被験者
 - ① 17 歳以下の症例
 - ② 現在、薬剤を投与されている患者
 - ③ 妊娠している者
 - ④ 過去に結核に感染し、治療を行った者
使用経験が少なく、有用性が確認されていない。
 - 3) その他
本検査で陽性となった場合は、結核、又は潜在性結核感染を示唆するが、判定保留や陰性となった場合は結核、又は潜在性結核感染を否定するものではない。
高齢者など、免疫系低下の可能性のある者については、他の臨床結果と合わせて総合的に診断すること。
 - ① 活動性結核において、時にリンパ球の反応性が低下し、検査時期によって陰性又は判定保留となる場合があるので、注意すること。
 - ② 結核感染後の初期においてはまだ陽転化せず、陰性又は判定保留となる場合がある。
 - ③ 結核菌中の一部を刺激抗原としており、結核感染患者の約 10%は検出されない可能性がある。



株式会社 セントラル医学検査研究所

本社 TEL : 029-225-8858 FAX : 029-225-8874
下館研究所 TEL : 0296-28-5900 FAX : 0296-28-5903